

(患者さん用)

MRI検査をお受けになる方へ

【MRI検査とは】

強力な磁場で出来た筒の中に入り、磁気の力を利用して体の臓器や血管を撮像する検査です。放射線は使用しません。

○閉所恐怖症のある方は、なるべく開放感のある装置での検査が望ましいため、事前にご相談ください。また、強い閉所恐怖症のある方は、安定剤服用など含めかかりつけ医(予約をしてもらう医師)と検討をお願いします。なお、我慢できない場合は直ぐに装置からお出しいたしますので安心して検査をお受けください。

○検査時間は概ね30分前後で、一部の検査を除き、仰向けで動かないでいただきます。

○胸部や腹部、一部の検査では息止めや安定した呼吸が必要なことがあります。

○30分程度仰向けが困難な方や、胸部や腹部の検査で20秒程度の息止めが困難な方でも、調整により診断可能な画像が得られることもあります。対応しやすい装置での検査が望ましいため、事前にご相談ください。また、痛みにより体位保持困難な方は、事前にかかりつけ医(予約をしてもらう医師)とご相談ください。

【注意事項】

以下の場合には磁力により、ペースメーカーなどの誤作動、体内金属の吸引や発熱により重大な障害を引き起こす可能性があるため、MRI検査不可または慎重に行う必要があります。同意書記入時に確認出来ていない項目がありましたら、かかりつけ医(予約をしてもらう医師)にお知らせください。

- 心臓ペースメーカー、人工内耳、神経刺激装置などの体内埋め込みのある方
- 義眼または眼球もしくはその周辺に金属が入っている可能性のある方
- 手術用クリップや人工関節が入っている方
- 血管内ステントやシャント、コイル、クリップ、心臓人工弁などが入っている方
- 植込み型心電図モニタ(ICM)が入っている方
- 持続血糖測定器(リブレなど)を装着している方
- 妊娠中の方
- アートメイク、ジェルネイルをしている方
- その他、刺青やインプラント(磁石式入れ歯)が入っている方

【造影剤を使用する方の注意事項】

[副作用と頻度]

○アレルギー反応:かゆみ、じん麻疹、吐き気、呼吸困難、意識消失 など

○腎機能障害:むくみ、血圧上昇 など

○その他:熱感、動機 など

これらのうち軽症なものは全検査の1~3%、重症なものは0.01~0.04%に起こる可能性があります。副作用が生じた場合には直ちに適切な処置を行います。体質や症状により約10~100万人に一人の割合で死亡することがあります。より安全に造影検査を行うために、以下のうち同意書記入時に確認出来ていない項目がありましたら、かかりつけ医(予約をしてもらう医師)にお知らせください。

- 以前に造影剤を使用して副作用や不快感のあった方
- 気管支喘息のある方
- 腎機能障害のある方

服 装	なるべく金属の無い服装で来院してください。 発熱性衣類は熱傷の恐れがある為、脱いでいただきます。 腕時計、カイロ、ヘアピン、ネックレス、ピアスなどの装飾品は外してから来院してください。 不織布マスクを使用し、ノーズワイヤーを外してください。
メイク	金属の含まれている化粧品があり、熱傷の恐れがあるため当日の化粧は出来るだけお控えください。 UVケア用品(日焼け止め)、増毛スプレー、カラーコンタクト、湿布、塗り薬なども当日はお控えください。
食 事	腹部を撮影する時のみ、造影剤の有無に関わらず直前食は控えてください。 その他の撮影は、造影検査であっても食事制限はありません。
飲 水	水かお茶は飲水可能です。
当日持参する もの	①予約通知書 ②診療情報提供書(検査依頼書)※原本 ③MRI検査 問診票・同意書 ※原本 ④保険証 ⑤診察券 ※当院受診歴のある方のみ
当日のながれ	「予約通知書」をご確認いただき、予約時間の30分前までに、外来棟1階「外来総合受付」にお越しください。
キャンセル	やむを得ず予約をキャンセルする場合、できるだけ早めに患者支援室へ連絡をお願いします。 対応時間:月曜日～金曜日 8:30～18:00 ※祝祭日・12/29～1/3 除く 電話番号:0274-22-3311 (代表)